

研究実施における情報公開（松戸歯学部単独研究）

研究の名称： 唾液を由来とした齲蝕原性微生物保有状況の検討（承認番号 EC23-006）

研究機関の名称： 学校法人日本大学（松戸歯学部・感染免疫学講座）

研究責任者： 専任講師・栗原紀子

研究期間： 令和5年8月8日 ～ 令和10年8月7日

① 試料・情報の利用目的及び利用方法

齲蝕のなりやすさは、齲蝕の原因菌を保有する数が重要です。それとともに齲蝕の原因となる細菌の種類も重要な点であり、*Streptococcus mutans* という齲蝕の原因菌を1種類のみ口の中に持っている場合よりも *Streptococcus mutans* と同時に *Streptococcus sobrinus* というもう一つの齲蝕原因菌を両方保有している場合の方が齲蝕になる頻度は高いと言われています。実習では個人の齲蝕の原因菌の種類と数について調べてもらいました。この研究では学年全員を対象として齲蝕の原因菌の保有状況と齲蝕の有無の相関性について検討することを目的としています。この結果から得られる成果は20代と他の年齢層での検証と比較することで齲蝕を予防すべき時期の検討などに役立つことに繋がります。

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

試料：唾液から分離した齲蝕原因細菌を含む口腔微生物

情報：性別と年齢

③ 試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

日本大学松戸歯学部 学部長 福本雅彦

④ 提供する試料・情報の取得の方法

実習で使用した唾液の細菌を播種した寒天培地

⑤ 提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者（多機関共同研究にあつては、研究代表者）の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称

研究責任者 栗原紀子

所 属 日本大学松戸歯学部

⑥ 利用する者の範囲

日本大学松戸歯学部2年次生および松戸歯学部附属衛生士専門学校2年次生

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

栗原 紀子

⑧ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する 旨

⑨ ⑧の研究対象者等の求めを受け付ける方法

本研究は、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした試料・情報等には匿名化処理を行い、安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。研究の詳細を知りたい場合は、下記までお問い合わせください。他の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書等を閲覧することが出来ます。

本研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌に発表する可能性があります。成果を発表する場合には、研究に参加していただいた方のプライバシーに慎重に配慮します。個人を特定できる情報が公表されることはありません。

なお、研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究で利用して欲しくない」と思われた場合にも、その旨をご連絡下さい。ご了承いただけない場合には研究対象といたしません。また、その場合でもご自身に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ先>

研究責任者：日本大学松戸歯学部・感染免疫講座・専任講師・栗原紀子

電話番号：047-360-9342

以 上